

○ テレビなどで大人気の哲学者 小川 仁志さん 米工生に語る —2025年度米子工業高校全校人権学習研修会を7月3日(木)に開催—

猛暑で米子市の気温は35℃を超える中、米子市公会堂に移動して午後1時30分から米工の生徒約450人と教職員約40人、保護者の方等20名が参加し、上記の研修会を開催しました。

今回の研修には、講師として多数のテレビやメディアにご出演されている哲学者 山口大学国際総合科学部教授の**小川仁志さん**に「**哲学思考でワクワクして生きるための方法**」という演題でお話しいただきました。

小川さんは、大学卒業後、大手商社、市役所、フリーターを経て、30歳のときに哲学と出遭い、現在では「哲学カフェ」を主宰するなど、市民のための哲学を実践され、哲学の普及に各種メディアでも積極的に発信されています。詳細な紹介は公式ホームページをご覧ください。[\(http://philosopher-ogawa.com/\)](http://philosopher-ogawa.com/)



《講演の一部内容です》

- ◎ 常識を超えた考え方から、イノベーション(技術革新)が生まれる。今まで思いもつかなかった方向から見ることで全く新しいものが作り出される。ということ。まさに哲学思考である。
- ◎ 人生に本当に必要な「考える」は、グルグル回って、振り返ることをいとわない「環返る」



- ◎ 説得ではなく納得する
人の話をよく聞く、全否定しない、難しい言葉を使わない ⇒ これによって開かれた対話が可能になる
- ◎ 常識を超えて考える ⇒ 意味を疑う ⇒ 様々な視点で捉え直す ⇒ 再構成する ⇒ 概念化する
(より深い理解が得られる・人生の意味が変わる・より善く生きることができる)
- ◎ 今話題のAIにはできないこと、人間がやるべきこと

【生徒の感想より (一部を抜粋して紹介しています。)]

- ☆ 哲学的な考え方は普通に考えたら思いつかない考え方だなどおもったけど、普段とは違う視点で考えたり、結構おかしい感じで考えることが大事だと思いました。
- ☆ 哲学とは「自分の中の常識を超えること」だと知り、大きな気づきがありました。今の時代、AIの発展が進み、「AIは1を無限に広げる力」を持っている一方で、0を1にする「新しい価値を見つけ出す力」は人間にしかないという話になるほどと感じました。
- ☆ 「考える」と「環返る」での見方で視点が大きく変わったり、疑問を持つことを自分で止めていたこともわかりました。また、哲学の考え方として「相手を説得するのではなく、納得させる」という言葉が印象に残りました。
- ☆ AIが普及しても、哲学的思考を利用すればAIではできない別の考え方や視点ができ、素晴らしい考え方だと思いました。哲学的思考を利用すれば人権問題についても知識を深められると思いました。

小川 仁志 さんの 最新刊

『悩まず、いい選択ができる人の頭の使い方』

(小川仁志 著、アスコム)

において、小川さんは、「選択」の重要性を強調されています。是非、ご一読ください。

